

令和6年度

秋田市遺跡確認調査報告書

2025.3 秋田市教育委員会

例 言

- 1 本報告書は、令和6年（2024）3月1日から令和7年（2025）2月28日まで秋田市内に所在する遺跡および遺跡存在可能性地において、開発事業などに伴って実施した遺跡確認調査報告書である。
- 2 遺跡確認調査は、秋田市教育委員会が調査主体となり、国庫補助金ならびに県費補助金の交付を受けて行った。
- 3 調査については、秋田市観光文化スポーツ部文化振興課が補助執行で行った。
- 4 本書の執筆・編集は第2章4を平井智規・神田和彦（秋田城跡歴史資料館）、第2章7・8を進藤靖、それ以外を佐藤桃子が担当した。
- 5 出土遺物および記録類は、秋田市教育委員会が一括して保管する。
- 6 調査にあたって、文化庁および秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室より、指導を得た。

凡 例

- 1 挿図の調査位置図については、主として秋田市都市計画図や秋田県森林基本図を使用した。
- 2 挿図の縮尺は不統一であり、図ごとに縮尺を示した。また、図中の方位は、方位記号のない挿図については、上が真北を示している。
- 3 挿図の中には下記の記号を用いた。
T＝トレンチ、SP＝ピット

調査体制

調 査 主 体	秋田市教育委員会
調 査 体 制	秋田市観光文化スポーツ部文化振興課
	課 長 岡 部 友 明
	文化財担当
	副 参 事 進 藤 靖（調査担当）
	主 席 主 査 伊 藤 才 城
	主 席 主 査 田 中 圭 紅
	主 任 佐 藤 桃 子（調査担当・主務者）
	主 事 天 野 聖 太
	主 事 鈴 木 聖 香

目 次

例 言

凡 例

調査体制

第1章 事業の概要	1
第2章 調査の記録	5
1 湯沢台牧場遺跡（太陽光発電事業予定地）	5
2 後城遺跡（集合住宅新築工事予定地）	7
3 河辺戸島地区農地集積加速化基盤整備事業予定地	9
4 秋田城跡（斜面復旧工事予定地）	12
5 高野三郡野地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地	15
6 鼻コシリ遺跡・五百刈沢遺跡 （飯島北部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地）	18
7 仁井田東部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地	21
8 仁井田西部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地	24
9 四ツ小屋南地区農地集積加速化基盤整備事業予定地	27
10 久保田城跡（千秋公園整備事業さくら景観整備工事予定地）	30
報告書抄録	33

第1章 事業の概要

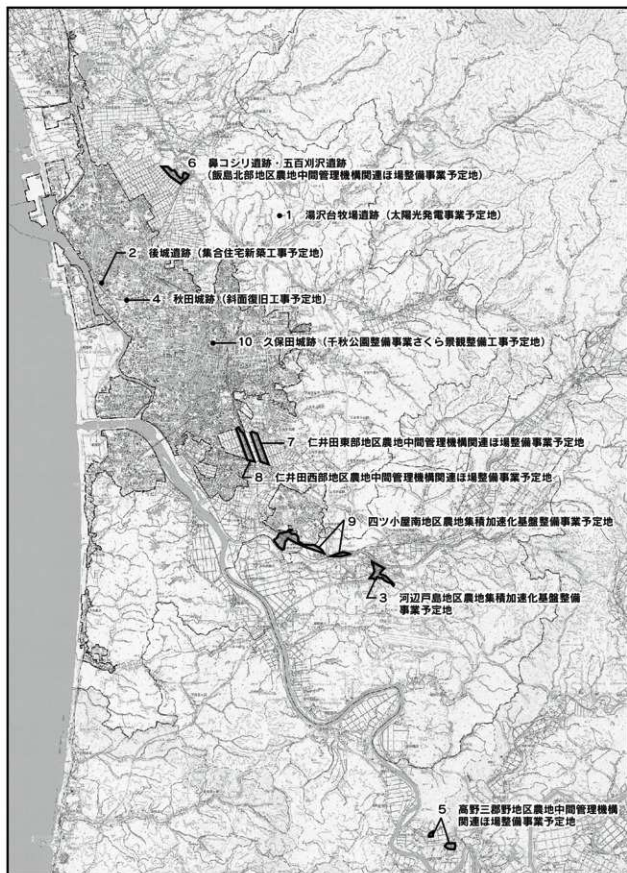
秋田市は、秋田県のほぼ中央部、日本海に面する秋田平野に位置している。秋田市内には、旧石器時代から近世までの遺跡が存在しており、埋蔵文化財の保護と開発事業に適切に対処するため、昭和61年から63年にかけて、国庫補助事業として市内全域の分布調査を実施している。その後、試掘・確認調査や平成17年の市町合併による遺跡の追加に伴い、現在、520か所の埋蔵文化財包蔵地が登録されている。

令和6年度は、周知の埋蔵文化財包蔵地または遺跡存在可能性地における公共事業や民間の開発事業などについて、事前の事業照会と協議、分布調査による確認を経て、詳細な把握が必要な箇所の試掘・確認調査を実施した。試掘調査を実施した箇所については、第1表・第1図に示し、第2章で詳細について述べる。その他、遺跡内における土木工事等については、文化財保護法第93条および第94条の手続きをとり、立会調査条件で立会調査を実施した箇所について第2表に、慎重工事となったものは第3表に示した。また、試掘調査には至らなかったものの、事前に分布調査を実施した箇所は第4表に示した。

本書には、令和6年（2024）3月1日から令和7年（2025）2月28日までにを行った調査について掲載し、令和7年3月1日以降に実施した調査は、次年度に報告する。

第1表 試掘・確認調査一覧

No	事業名	遺跡名	所在地	事業主体	事業概要	調査面積	調査期日
1	太陽光発電事業	湯沢台牧場遺跡	浜川字湯沢256-15、256-16、256-17	株式会社Loop	太陽光発電事業	50.4㎡	R6.5.2
2	集合住宅新築工事	後城遺跡	寺内後城120-1、120-3、121	大東建託株式会社秋田支店	集合住宅新築工事	44.4㎡	R6.9.2
3	河辺戸島地区農地集積加速化基盤整備事業		河辺戸島地内	秋田県秋田地域振興局	圃場整備事業	297.3㎡	R6.10.29-11.1
4	斜面復旧工事	秋田城跡	寺内児桜一丁目117	宗教法人古四王神社	斜面復旧工事	8㎡	R6.11.5
5	高野三郡野地区農地中間管理機構関連は場整備事業		雄和左手子地内	秋田県秋田地域振興局	圃場整備事業	225.6㎡	R6.11.12-14
6	飯島北部地区農地中間管理機構関連は場整備事業	鼻コシリ遺跡・五百刈沢遺跡	上新城地内	秋田県秋田地域振興局	圃場整備事業	258.3㎡	R6.11.19-22
7	仁井田東部地区農地中間管理機構関連は場整備事業		仁井田地内	秋田県秋田地域振興局	圃場整備事業	236.3㎡	R6.11.20-22
8	仁井田西部地区農地中間管理機構関連は場整備事業		仁井田地内	秋田県秋田地域振興局	圃場整備事業	281.1㎡	R6.11.25-28
9	四ツ小屋南地区農地集積加速化基盤整備事業		四ツ小屋地内	秋田県秋田地域振興局	圃場整備事業	301.2㎡	R6.11.25-29
10	千秋公園整備事業さくら景観整備工事	久保田城跡	千秋公園地内	秋田市（公園課）	千秋公園整備事業	8.5㎡	R6.12.19



第1図 試掘・確認調査位置図 (S=1/150,000)

第2表 立会調査一覧

No.	事業名	事業者名	所在地	該当道路	申請日	対応分類	調査日	調査員	調査結果
1	共同住宅建築	鉄建建設株式会社	千秋久保田町4番30	久保田城跡	R5.11.27	93条	R6.215	佐藤	遺構・遺物なし
2	住宅建築	個人	土崎港中央六丁目77-18	湊城跡	R6.1.25	93条	R6.3.26	伊藤・鈴木	遺構・遺物なし
3	フェンス復旧工事	東京海上日動フシリティーズ	土新成長岡字耳取87-4	耳取1道路	R6.21	93条	R6.3.29	佐藤	遺構・遺物なし
4	住宅建築	個人	新藤田字高梨台10-5	高梨台遺跡	R6.3.12	93条	R6.4.23	伊藤	遺構・遺物なし
5	住宅新築	個人	土崎港中央三丁目地内	湊城跡	R5.11.16	93条	R6.4.24	佐藤	遺構・遺物なし
6	電柱建替	東日本電信電話株式会社宮城事業部秋田支店	千秋北の丸7-44	久保田城跡	R6.4.1	93条	R6.5.23	田中	遺構・遺物なし
7	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	土北手古野字館田50-55	古野館	R6.4.24	93条	R6.6.4	鈴木	遺物なし
8	住宅建築	プライムハウス	千秋中島町5-45、5-47、853、745-6	久保田城跡	R6.4.30	93条	R6.6.10	佐藤	遺構・遺物なし
9	外構工事	宗教法人天徳寺	泉三蔵根10-1	万固山天徳寺	R6.2.29	93条	R6.4.22、5.10・20・23、6.17、7.1	佐藤	遺構・遺物なし
10	住宅建築	個人	新藤田高梨台146、16-4、18-16	高梨台遺跡	R6.5.30	93条	R6.7.4	蓮藤	遺構・遺物なし
11	宅地造成、上下水道管引込み	ハーベストホーム株式会社	外旭川八幡三丁目579番1	八幡館	R6.6.25	93条	R6.7.4・22	伊藤	遺構・遺物なし
12	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	土崎港中央六丁目195番14地内	湊城跡	R6.5.23	93条	R6.8.5	伊藤	遺構・遺物なし
13	融雪施設改良工事	秋田市（道路維持課）	千秋北の丸地内	久保田城跡	R6.6.6	94条	R6.8.5	佐藤	遺構・遺物なし
14	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	土崎港六丁目195番15地内	湊城跡	R6.5.23	93条	R6.8.22	伊藤	遺構・遺物なし
15	位牌堂復旧	宗教法人天徳寺	泉三蔵根10-1	万固山天徳寺	R5.12.6	93条	R5.12.18、R6.1.10、8.23	佐藤	遺構・遺物なし (R5年度に 発掘調査実施)
16	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	土崎港中央三丁目10-6地先	湊城跡	R5.5.23	93条	R6.8.29	伊藤	遺構・遺物なし
17	下水道延長寿命化	秋田市（下水道整備課）	千秋北の丸地内	久保田城跡	R6.4.8	94条	R6.8.5・23、9.2	佐藤・蓮藤	遺構・遺物なし
18	支線撤去	東日本電信電話株式会社宮城事業部秋田支店	千秋北の丸8-5	久保田城跡	R6.7.26	94条	R6.9.4	佐藤	遺構・遺物なし
19	宅地造成	山建開発株式会社	寺内後城356番	後城遺跡	R6.6.11	93条	R6.9.5	佐藤	遺構・遺物なし
20	住宅建築	個人	新藤田字治郎沢12番23	高梨台遺跡	R6.8.6	93条	R6.9.12	佐藤	遺構・遺物なし
21	農地集積加速化基盤整備	秋田県秋田地域振興局	雄和田草川地内	船ヶ沢遺跡	R6.7.11	94条	R6.10.4	佐藤	遺構・遺物なし (R5年度に 試掘調査実施)
22	住宅新築	個人	千秋矢留町34-4、49	久保田城跡	R6.9.10	93条	R6.10.7	佐藤	遺構・遺物なし
23	住宅建築	個人	千秋矢留町11-58、11-59	久保田城跡	R6.5.14	93条	R6.10.8	田中・佐藤	遺構・遺物なし
24	住宅新築・土留め	ハーベストホーム株式会社	外旭川八幡三丁目579番7	八幡館	R6.9.2	93条	R6.9.20、10.10	伊藤	遺構・遺物なし
25	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	土崎港中央六丁目195番2	湊城跡	R6.6.12	93条	R6.10.17	天野	遺構・遺物なし
26	道路改良	秋田市（道路維持課）	千秋矢留町9-19	久保田城跡	R6.9.18	94条	R6.10.25	天野・佐藤	遺構・遺物なし
27	住宅建築	個人	千秋矢留町3番15	久保田城跡	R6.7.16	93条	R6.10.31	蓮藤	遺構・遺物なし
28	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	金足片田字コウラケ13-2地内	浅田遺跡	R6.9.19	93条	R6.11.5	蓮藤	遺構・遺物なし
29	住宅新築	個人	寺内後城169-1	後城遺跡	R6.10.10	93条	R6.11.13	天野	遺構・遺物なし
30	下水道管渠更生工事	秋田市（下水道整備課）	千秋久保田町地内	久保田城跡	R6.10.21	94条	R6.11.22	田中	遺構・遺物なし
31	住宅新築	個人	外旭川八幡三丁目579番6	八幡館	R6.10.21	93条	R6.11.26	伊藤	遺構・遺物なし
32	引き込み柱、控え網設置	宗教法人天徳寺	泉三蔵根10-1	万固山天徳寺	R6.11.8	93条	R6.11.26	田中	遺構・遺物なし
33	千秋公園整備事業	秋田市（公園課）	千秋明徳地内	久保田城跡	R6.12.4	94条	R6.12.11	佐藤	遺構・遺物なし
34	電柱建替	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	土崎港中央三丁目113-1地内	湊城跡	R6.10.10	93条	R6.12.12	佐藤	遺構・遺物なし
35	電柱新設	東北電力ネットワーク株式会社秋田電力センター	寺内後城13	後城遺跡	R6.10.17	93条	R6.12.13	佐藤	遺構・遺物なし
36	千秋公園整備事業	秋田市（公園課）	千秋公園地内	久保田城跡	R6.12.4	94条	R7.1.15	蓮藤	遺構・遺物なし
37	道路改良	秋田市（道路建設課）	川尻大川町	下ク野遺跡	R6.12.11	94条	R7.2.10	佐藤	遺構・遺物なし
38	電柱建替	東日本電信電話株式会社宮城事業部秋田支店	寺内後城18-29地先	後城遺跡	R6.11.8	94条	R7.2.12	佐藤	遺構・遺物なし
39	住宅新築	個人	寺内後城120-1、120-3、121	後城遺跡	R6.10.2	93条	R7.2.27	佐藤	遺構・遺物なし (R6年度に 試掘調査実施)
40	森林伐採	秋田中央森林組合	雄和種沢字館ヶ沢65	種沢館	R6.12.24	93条	R7.1.9、2.3・28	佐藤	遺構・遺物なし

第3表 慎重工事一覧

No	事業名	事業者名	所在地	該当道跡	申請日	対応分類
1	野球場整備工事	秋田県秋田地域振興局	金足追分海老穴102-4	金足農高北道跡	R6.6.14	94条
2	河岸護岸復旧	秋田県秋田地域振興局	添川字飛鳥田内	飛鳥田道跡	R6.6.20	94条
3	駐車場造成	株式会社プライムハウス	千秋中島町5-45、5-46、5-47	久保田城跡	R6.9.30	93条

第4表 分布調査一覧

No	事業名	事業者名	所在地	申請日	対応分類	調査日	調査員	調査結果
1	太陽光発電事業	株式会社Loop	添川字湯沢256-15、 256-16、256-17	R6.2.27	事前調査依頼	R6.3.13	佐藤・前井田	道跡あり (試掘調査 対応)
2	協和線軽年化対策 事業（電力鉄塔建 替工事）	東北電力ネット ワーク株式会社	上北手古野地内	R6.5.15	事前調査依頼	R6.5.23	佐藤・進藤	道跡なし
3	分譲宅地	共和ホーム株式会 社	飯島穀丁379番、380番 および381番	R6.5.17	開発事前協議	R6.5.23	佐藤	道跡なし
4	分譲宅地	昭和不動産株式会 社	仁井田湯中町134番1、 135番1および134番1地 先水路	R6.6.24	開発事前協議	R6.6.26	進藤	道跡なし
5	分譲宅地	株式会社ドリーム ビルド	広面字谷内佐渡146番 1、147番、148番、149 番および150番	R6.8.26	開発事前協議	R6.8.26	佐藤	道跡なし
6	分譲宅地	ア・クリア株式会 社	仁井田目長田一丁目2 番3の内、2番6の内、2 番7の内、2番8の内、3 番の内、8番の内、9番 の内、33番、8番地先 道水路、仁井田本町三 丁目968番1、979番1、 979番3、979番4、980 番、981番および982番	R6.10.11	開発事前協議	R6.10.17	進藤	道跡なし
7	秋田県男鹿市、潟 上市及び秋田市沖 洋上風力発電事業	男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社	下新城地内	R6.12.3	事前調査依頼	R6.12.10	佐藤・進藤	道跡あり (立会対応)
8	分譲宅地	株式会社アキタ・ ランドシステム	外旭川字堂ノ前23番、 28番5、28番7の内、28 番8、28番9、28番10、 28番11、28番12、28番 14、28番15、201番2、 202番1、203番1、203 番7の内および23番地 先水路	R7.1.27	開発事前協議	R7.2.4	佐藤	道跡なし

第2章 調査の記録

1 湯沢台牧場遺跡（太陽光発電事業予定地）

- 1 調査地 秋田市添川字湯沢256-15、256-16、256-17
 2 調査期日 令和6年5月2日
 3 調査面積 50.4㎡（調査対象面積 33,064㎡）
 4 起回事業 太陽光発電事業
 5 調査に至る経緯

株式会社Looopは、秋田市添川字湯沢256-15、256-16、256-17に太陽光発電事業を予定していることから、令和6年3月18日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財の事前調査の依頼があった。これを受けて秋田市教育委員会は、事業予定地について上記のとおり範囲確認調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は秋田市街地の北東部、旭川右岸の上新城丘陵およびその南側に張り出した舌状台地の南西に位置する。湯沢台牧場遺跡（旧石器・縄文）に含まれ、標高は約90～100mである。かつては牧場が営まれていたが、現況は荒地となっている。

7 調査の概要および結果

調査は工事予定地にトレンチを3本設定し、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第2図）。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 暗褐色土（表土、20～30cm）、第Ⅱ層 褐色土に黄褐色粘土混じる（造成土、14～80cm）、第Ⅲ層 黄褐色粘質土（地山、35cm以上）である。

1号トレンチの南部分のみ第Ⅱ層直下に、黒褐色土（堆積土、植物遺体混入、40cm）、灰褐色土（堆積土、20cm以上）が存在し、南側に向かって落ち込んでいることを確認した。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構の検出および遺物の出土はなかった。

(3) 所見

調査の結果、1号トレンチの南部では、南側に向かって落ち込む沼地・もしくは沢状の地形が確認された。その他の地点においては、全体を削平後造成されていると考えられ、西側に行くにつれ造成が厚くなる状況を確認した。遺構・遺物・遺物包含層は確認されなかった。

以上のことから、調査地では遺構・遺物は確認されず、過去の調査において確認された遺物出土範囲を除き、事業実施については差し支えないと判断した。

（調査担当：佐藤・進藤）



第2図 湯沢台牧場遺跡（太陽光発電事業予定地）調査位置図 (S=1/2,500)



1号トレンチ平面（南→）



1号トレンチ土層堆積状況（東→）



2号トレンチ平面（北→）



3号トレンチ平面（北→）

2 後城遺跡（集合住宅新築工事予定地）

- 1 調査地 秋田市寺内後城120-1、120-3、121
 2 調査期日 令和6年9月2日
 3 調査面積 44.4㎡（調査対象面積 983.77㎡）
 4 起回事業 集合住宅新築工事
 5 調査に至る経緯

大東建託株式会社秋田支店は、秋田市寺内後城120-1、120-3、121に集合住宅新築工事を予定していることから、令和6年7月26日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と範囲確認調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は、秋田市北西部の高清水丘陵の北西側に立地する後城遺跡（古代・中世・近世）の西に位置し、標高は10.5m、現況は宅地・畑地である。当該遺跡は、昭和53年に発掘調査が行われ、大規模な宅地造成が行われている。

7 調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅1.5mのトレンチを3本設定し、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第3図）。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 黒褐色土・褐色土（表土・現耕作土、15～20cm）、第Ⅱ層 暗褐色砂質土（造成土、20～40cm）、第Ⅲ層 暗褐色砂質土に黒褐色土、炭化物、粘土ブロック混じる（造成土、10～110cm）、第Ⅳ層 褐色砂に炭化物混じる（造成土、10～40cm）、第Ⅴ層 黄褐色砂（飛砂層、90cm以上）である。

(2) 検出遺構と出土遺物

第Ⅲ層より珠洲系陶磁器插鉢、鉄製品（釘）が出土した。遺構は検出されなかった。

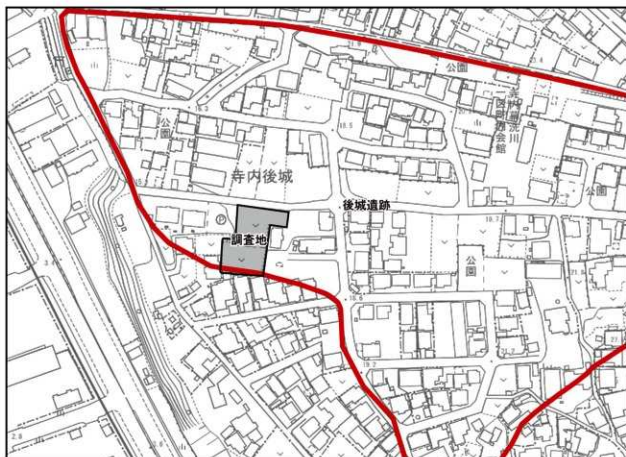
(3) 所見

調査の結果、近現代の造成土であると考えられる第Ⅱ・Ⅲ層が調査地全体において確認され、調査地の地形は近現代の開発等により大きく改変・擾乱されている状況が確認された。

当該工事の掘削は近現代の造成土の範囲内におさまることから、事業実施については差し支えないと判断した。

文化財保護法93条に基づく届出を受け、令和7年2月27日に立会調査を実施したが、遺構・遺物は発見されなかった。

（調査担当：佐藤・進藤）



第3図 後城遺跡（集合住宅新築工事予定地）調査位置図（S=1/2,500）



1号トレンチ平面（東→）



1号トレンチ土層堆積状況（北→）



2号トレンチ土層堆積状況（東→）



3号トレンチ土層堆積状況（南→）

3 河辺戸島地区農地集積加速化基盤整備事業予定地

- 1 調査地 秋田市河辺戸島地内
- 2 調査期日 令和6年10月29日～11月1日
- 3 調査面積 297.3㎡（調査対象面積 157,000㎡）
- 4 起回事業 農地集積加速化基盤整備事業
- 5 調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市河辺戸島地内に農地集積加速化基盤整備事業を予定していることから、令和6年10月11日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は、秋田市の南東部、岩見川左岸の岩見川低地で、標高は13～19m、現況は休耕田である。調査地周辺には戸島上野Ⅰ遺跡（縄文・弥生・平安）、井戸尻台Ⅰ遺跡（縄文・弥生）、井戸尻台Ⅱ遺跡（縄文）、七曲台遺跡（縄文・弥生）が存在する。

7 調査の概要および結果

調査は、事業予定地に幅1.5mのトレンチを26本設定し、一部深掘りをしながらバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第4図）。

(1) 層序

調査地の基本層序について、各地区ごとに記述する。

ア 湿地であったと考えられる地区（1～9号、15号トレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、10～20cm）、第Ⅱ層 褐色土・暗褐色土に黄褐色粘土ブロック混じる（水田造成土・基盤、10～20cm）、第Ⅲ層 黒褐色土に青灰色粘土ブロック混じる（堆積土、15～50cm）、第Ⅳ層 植物遺体が多量に混じる褐色粘質土（スクモ層、15～35cm）、第Ⅴ-Ⅰ層 褐色粘質土（堆積土、30cm）、第Ⅴ-Ⅱ層 植物遺体が若干混じるグライ化した灰白色粘土（堆積土、40cm）、第Ⅵ層 青灰色粘土・灰白色粘土（地山、10cm以上）、である。

第Ⅳ・Ⅴ層は調査箇所によってない場所もあり、一様ではない。

イ 旧河道・氾濫原であったと考えられる地区（上記以外）

第Ⅰ層 灰褐色土・暗褐色土（表土・耕作土、10～20cm）、第Ⅱ-Ⅰ層 灰褐色土・褐色土（水田造成土・基盤、10～20cm）、第Ⅱ-Ⅱ層 褐色土・黒褐色土に黄褐色粘土ブロック混じる（堆積土、10～25cm）、第Ⅲ-Ⅰ層 褐色粘質土に砂質土混じる（堆積土、10～50cm）、第Ⅲ-Ⅱ層 青灰色粘質土・褐色砂質土（堆積土、20cm）、第Ⅳ層 褐色砂にφ10cm程度の円礫が混じる（河川堆積土、50cm以上）、である。21・24号トレンチでは第Ⅲ層は確認されない。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構の検出および遺物の出土はなかった。

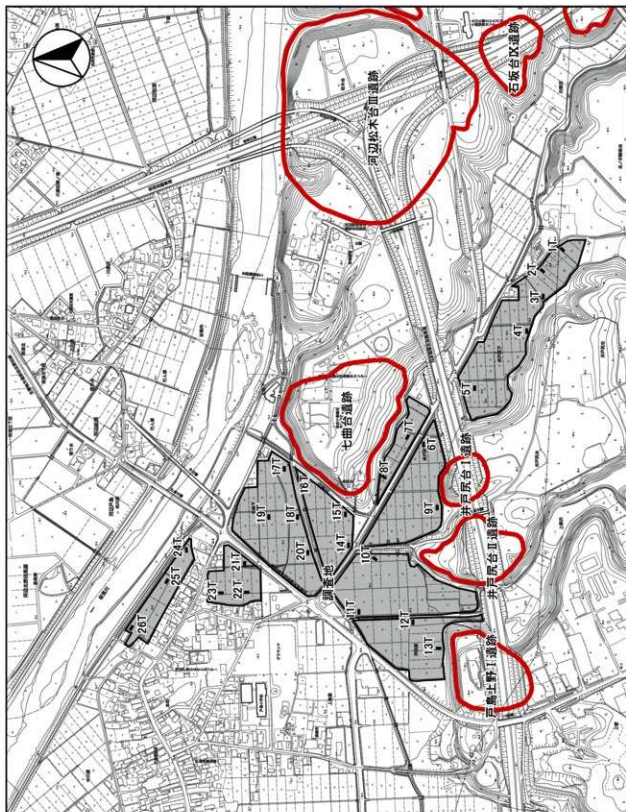
(3) 所見

調査の結果、土層の堆積状況から、調査対象地の南東部である1～9号、15号トレンチ周辺は湿状の土地であったと考えられる。また、調査対象地の西側である、それ以外のトレンチの周辺は岩見

川の旧河道・氾濫原であったと考えられる。

以上のことから、事業予定地に遺跡は確認されず、事業実施については差し支えないと判断した。

(調査担当：佐藤・進藤)



第4図 河辺戸島地区農地集積加速化基盤整備事業予定地調査位置図 (S=1/8,000)



1号トレンチ土層堆積状況（北東→）



8号トレンチ土層堆積状況（南→）



9号トレンチ土層堆積状況（東→）



11号トレンチ土層堆積状況（西→）



13号トレンチ土層堆積状況（北→）



15号トレンチ土層堆積状況（西→）



18号トレンチ土層堆積状況（東→）



25号トレンチ土層堆積状況（東→）

4 秋田城跡(斜面復旧工事予定地)

- 1 調査地 秋田市寺内児桜一丁目117
- 2 調査期日 令和6年11月5日
- 3 調査面積 8㎡(調査対象面積 39㎡)
- 4 起回事業 斜面復旧工事
- 5 調査に至る経緯

宗教法人古四王神社は、崩落した斜面の復旧工事を予定していることから、令和6年10月22日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は、分布調査による現況確認と範囲確認調査を実施した。なお、国史跡秋田城跡における事前調査に対する現状変更については、令和6年8月5日付けで秋田市から文化庁へ申請し、令和6年9月13日付け6文庁第2588号で許可があった。

6 立地と現況

調査地は、秋田市中心部の高清水丘陵に立地する史跡秋田城跡南東部の児桜地区で、現況は神社境内地である(第5図)。標高約28mの地点に位置する平坦地で、北側が崩落した斜面であり、斜面下には住宅地が広がっている(第6図)。

7 調査の概要および結果

調査は、工事予定地にトレンチを設定し、手掘りによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 黒褐色土(表土、5～15cm)、第Ⅱ層 暗褐色粘質土に黄褐色粘質土が混じる(遺物包含層、10～30cm)、第Ⅲ層 橙色粘土(地山粘土層)である(第7図)。

(2) 検出遺構と出土遺物

第Ⅰ層(表土)では、ビニール小片が出土しており、近代以降の堆積であると考えられる。第Ⅱ層(遺物包含層)からは、古代の須恵器杯(9世紀前半以降)・壺体部片が出土しており、古代(9世紀前半)以降の堆積であると考えられる。

遺構は、第Ⅲ層(地山粘土層)で、ビット群(SP01～11)が検出された。ビット群の平面形は、直径8～40cm程の円形や楕円形を呈するものが多い。SP01とSP05を半載したところ、深さはSP01が5cm、SP05が16cmであった。なお、SP01・05の埋土から遺物の出土はなかったが、第Ⅱ層(遺物包含層)の年代から、このビット群は古代の遺構であると考えられる。

(3) 所見

調査の結果、第Ⅲ層(地山粘土層)で古代の遺構と考えられる11基のビット群が検出され、古代以降の遺物包含層(第Ⅱ層)の堆積も確認された。第Ⅰ層(表土)は近代以降の堆積と考えられ、第Ⅰ層(表土)と第Ⅱ層(遺物包含層)によって、現在の平坦地が形成されている。

以上から、11基のビット群が存在するが、調査区から古代秋田城に関する重要遺構は検出されなかったため、現地で保存すべき重要遺構は存在しないと判断した。ただし、遺物包含層(第Ⅱ層)と第Ⅲ層(地山粘土層)でビット群が検出されたため、工事影響範囲については、記録保存のために発掘調査が必要であるとする。

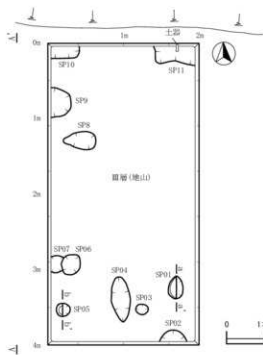
(調査担当：秋田城跡歴史資料館 平井・神田)



第5図 史跡秋田城跡調査地位置図(S=1/5,000)



第6図 トレンチ配置図(S=1/500)



調査区平面図 (S=1/50)

- 凡 例
- 第1層 表土 黒褐色土(5~15cm)
 - 第2層 増成土 増成色粘質土に黄褐色粘質土が混じる(10~20cm)
 - 第3層 地山粘土層 褐色粘土



調査区西壁土層断面模式図 (S=1/50)



- 1層 灰褐色粘質土に
灰白色粘土ブロックが混入
(4~5cm)



- 1層 灰褐色粘質土に
褐色粘質土が混入
(8~15cm)
2層 灰褐色粘質土(4~6cm)

SP01・05 断面図 (S=1/20)



第7図 調査区平面図、西壁土層断面模式図、SP01・05断面図



調査地全景（斜面下から）



第Ⅱ層検出状況（南→北）



第Ⅲ層、ビット群検出状況（南西→北東）



完掘状況（南西→北東）



SP01・05半裁状況（北西→南東）



西壁土層断面（北東→南西）



西壁土層断面（近景）（東→西）



第Ⅱ層出土遺物

5 高野三郡野地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地

- 1 調査地 秋田市雄和左手子地内
 2 調査期日 令和6年11月12～14日
 3 調査面積 225.6㎡（調査対象面積 250,000㎡）
 4 起回事業 農地中間管理機構関連ほ場整備事業
 5 調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市雄和左手子地内において農地中間管理機構関連ほ場整備事業を予定していることから、令和6年10月15日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は、秋田市の南部、雄物川等によって形成された向野原段丘と雄物川低地にあり、現況は水田・畑である。標高は段丘上は27mで、低地部は17mである。調査地周辺には南に向野遺跡（縄文）が存在している。

7 調査の概要および結果

調査は、事業予定地に幅1.5mのトレンチを19本設定し、一部深掘りをしながらバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第8図）。

(1) 層序

調査地の基本層序について、各地区ごとに記述する。

ア 段丘上（1～16号トレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、10～30cm）、第Ⅱ層 褐色土・暗褐色土・黒褐色土に黄褐色土ブロック混じる（耕作土・造成土、5～40cm）、第Ⅲ層 明黄褐色粘質土・灰白色粘質土（堆積土、30～45cm）、第Ⅳ-1層 灰白色粘土（地山、5～45cm）、第Ⅳ-2層 黄褐色粘土（地山、ローム層、5～25cm）、第Ⅴ-1層 灰白色粘土に礫混じる（地山、10cm以上）、第Ⅴ-2層 黄褐色粘土に礫混じる（地山、ローム層、5cm以上）である。ローム層は10～16号トレンチのみ確認、4号トレンチのみ第Ⅲ層に砂が混じる。

イ 低地部（17～19号トレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、10～25cm）、第Ⅱ層 褐灰色土・黒褐色土に黄褐色土ブロック混じる（水田造成土・基盤、5～30cm）、第Ⅲ層 褐灰色粘質土（堆積土、5～25cm）、第Ⅳ層 灰白色粘土（堆積土、5cm以上）である。19号トレンチのみ第Ⅲ層に多量の植物遺体が混じる

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構の検出および遺物の出土はなかった。

(3) 所見

調査の結果、段丘上については、昭和40年代に行われた当該地区の開田により大規模な削平・造成が行われ、旧地形は大きく改変されていると考えられる。低地部については土層の堆積状況より湿地であったと考えられる。以上のことから、事業予定地では遺跡は確認されず、事業実施については差し支えないと判断した。

（調査担当：佐藤・進藤）



第8図 高野三郎野地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地調査位置図 (S=1/5,000)



2号トレンチ土層堆積状況（西→）



4号トレンチ土層堆積状況（西→）



6号トレンチ土層堆積状況（西→）



10号トレンチ土層堆積状況（東→）



17号トレンチ土層堆積状況（東→）



19号トレンチ土層堆積状況（東→）

6 鼻コシリ遺跡・五百刈沢遺跡

(飯島北部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地)

- 1 調査地 秋田市上新城地内
- 2 調査期日 令和6年11月19～22日
- 3 調査面積 258.3㎡ (調査対象面積 201,000㎡)
- 4 起回事業 農地中間管理機構関連ほ場整備事業
- 5 調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市上新城地内に農地中間管理機構関連ほ場整備事業を予定していることから、令和6年10月21日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は、秋田市の北部、上新城に位置する谷底平野で、標高は約6～8m、現況は水田・休耕田および畑である。鼻コシリ遺跡(奈良・平安)、五百刈沢遺跡(奈良・平安)が該当し、周辺には片野Ⅰ遺跡(縄文・平安)、片野Ⅱ遺跡(縄文・平安)などが所在する。

7 調査の概要および結果

調査は、事業予定地に幅1.5mのトレンチを24本設定し、一部深掘りをしながらバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した(第9図)。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 暗褐色土・褐色土(表土・耕作土、10～25cm)第Ⅱ層 褐色土に黄褐色土が混じる(造成土、10～50cm)、第Ⅲ層 褐灰色粘質土に青灰色粘土混じる(造成土、10～40cm)、第Ⅳ-1層 暗褐色・暗青灰色粘質土に植物遺体混じる(堆積土、40～50cm)、第Ⅳ-2層 暗褐色土に植物遺体多量に混じる(スクモ層、10～30cm)、第Ⅴ層 青灰色粘土(堆積土、10cm以上)である。

第Ⅳ層は確認されない箇所があり、一様ではない

(2) 検出遺構と出土遺物

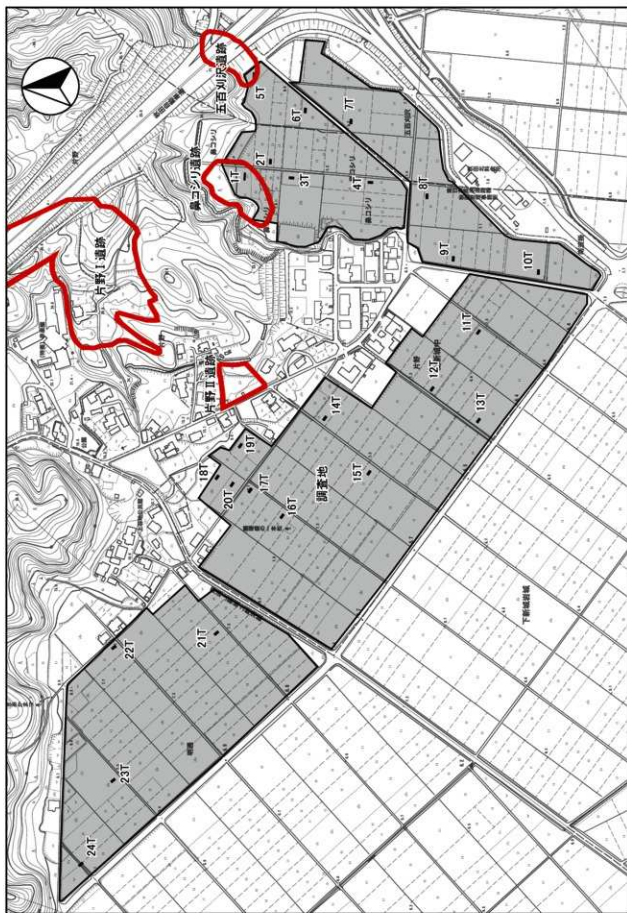
遺構の検出はなかった。遺物は18号トレンチのⅢ層・Ⅳ層上層から縄文土器・須恵器・土師器が複数点出土した。いずれも破片で摩耗しており、流れ込みと考えられる。

(3) 所見

調査の結果、土層の堆積状況から、調査対象地の南東部である1～9号、15号トレンチ周辺は湿地状の土地であったと考えられる。また、調査対象地の西側である、それ以外のトレンチの周辺は岩見川の旧河道・氾濫原であったと考えられる。縄文時代から古代にかけての土器が複数出土したが、出土状況や旧地形からみて高台に所在する遺跡からの流れ込みであると考えられる。

以上のことから、事業予定地では遺物包含層は確認されず、事業実施については差し支えないと判断した。

(調査担当：佐藤)



第9図 飯島北部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地調査位置図 (S=1/5,000)



1号トレンチ土層堆積状況（南東→）



5号トレンチ土層堆積状況（東→）



10号トレンチ土層堆積状況（西→）



12号トレンチ土層堆積状況（西→）



18号トレンチ土層堆積状況（南西→）



22号トレンチ土層堆積状況（南東→）



24号トレンチ土層堆積状況（西→）



出土遺物

7 仁井田東部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地

- 1 調査地 秋田市仁井田地内
- 2 調査期日 令和6年11月20～22日
- 3 調査面積 236.3㎡（調査対象面積 317,000㎡）
- 4 起回事業 農地中間管理機構関連ほ場整備事業
- 5 調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市仁井田地内に農地中間管理機構関連ほ場整備事業を予定していることから、令和6年10月1日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は秋田市の南東部、秋田低地を流れる猿田川の左岸に広がる標高6～7mの地点で、現況は水田、休耕田および畑である。調査地北東の丘陵上には前田遺跡（縄文・奈良・平安）が存在する。

7 調査の概要および結果

調査は、事業予定地に幅1.6mのトレンチを22本設定し、一部深掘りをしながらバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第10図）。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、10～30cm）、第Ⅱ層 褐色土（水田造成土・基盤、10～35cm）、第Ⅲ層 黒褐色土（堆積土、10～45cm）、第Ⅳ-1層 植物遺体が多量又は微量に混じる暗褐色粘質土・灰褐色粘質土（スクモ層、10～35cm以上）、第Ⅳ-2層 植物遺体が微量に混じる灰褐色粘質土・黄褐色粘質土（スクモ層、20～25cm）、第Ⅴ層 植物遺体が混じるグライ化した青灰色粘質土・褐灰色粘質土（地山、10cm以上）である。

16、17号トレンチでは第Ⅲ層、第Ⅳ-1層は確認されず、第Ⅳ-2層を確認した。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構の検出はなかった。遺物は1、12、16、21号トレンチの第Ⅱ層中から陶磁器の小破片が5点出土した。

(3) 所見

調査の結果、土層の堆積状況から調査地の旧地形は猿田川の氾濫原および湿地であったと考えられる。

以上のことから、事業予定地では遺跡は確認されず、事業実施については差し支えないと判断した。

（調査担当：進藤）



第10図 仁井田東部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地調査位置図 (S=1/6,000)



1号トレンチ土層堆積状況（東→）



3号トレンチ土層堆積状況（西→）



9号トレンチ土層堆積状況（東→）



11号トレンチ土層堆積状況（西→）



16号トレンチ土層堆積状況（東→）



22号トレンチ土層堆積状況（東→）

8 仁井田西部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地

- 1 調査地 秋田市仁井田地内
- 2 調査期日 令和6年11月25～28日
- 3 調査面積 281.1㎡（調査対象面積 336,000㎡）
- 4 起因事業 農地中間管理機構関連ほ場整備事業
- 5 調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市仁井田地内に農地中間管理機構関連ほ場整備事業を予定していることから、令和6年10月2日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は秋田市の南東部、秋田低地を流れる猿田川の左岸に広がる標高6～7mの地点で、現況は水田、休耕田および畑である。調査地北東の丘陵上には前田遺跡（縄文・奈良・平安）が存在する。

7 調査の概要および結果

調査は、事業予定地に幅1.6mのトレンチを25本設定し、一部深掘りをしながらバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第11図）。

(1) 層序

調査地の基本層序は、第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、10～30cm）、第Ⅱ層 褐色土（水田造成土・基盤、10～45cm）、第Ⅲ層 黒褐色土（堆積土、10～35cm）、第Ⅳ-Ⅰ層 植物遺体が多量又は微量に混じる暗褐色粘質土・灰褐色粘質土（スクモ層、10～35cm以上）、第Ⅳ-Ⅱ層 植物遺体が微量に混じる灰褐色粘質土・黄褐色粘質土（スクモ層、30～40cm）、第Ⅴ層 植物遺体が混じるグライ化した青灰色粘質土・褐灰色粘質土（地山、10cm以上）である。

1、2、5号トレンチでは第Ⅲ層、第Ⅳ-Ⅰ層は確認されず、第Ⅳ-Ⅱ層を確認した。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構の検出および遺物の出土はなかった。

(3) 所見

調査の結果、土層の堆積状況から、調査地の旧地形は猿田川の氾濫原および湿地であったと考えられる。

以上のことから、事業予定地では遺跡は確認されず、事業実施については差し支えないと判断した。

（調査担当：進藤）



第11図 仁井田西部地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業予定地調査位置図 (S=1/6,000)



1号トレンチ土層堆積状況（南東→）



5号トレンチ土層堆積状況（西→）



11号トレンチ土層堆積状況（西→）



18号トレンチ土層堆積状況（東→）



22号トレンチ土層堆積状況（西→）



24号トレンチ土層堆積状況（西→）

9 四ツ小屋南地区農地集積加速化基盤整備事業予定地

- 1 調査地 秋田市四ツ小屋地内
 2 調査期日 令和6年11月25～29日
 3 調査面積 301.2㎡（調査対象 432,000㎡）
 4 起回事業 農地集積加速化基盤整備事業
 5 調査に至る経緯

秋田県秋田地域振興局は、秋田市四ツ小屋地内に農地集積加速化基盤整備事業を予定していることから、令和6年10月3日付けで秋田市教育委員会に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。

これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と試掘調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は秋田市南部、岩見川右岸で、標高は7～10m、現況は水田・畑である。調査地北側には、旧石器から中世までの遺跡が集中する御所野台地遺跡群が存在する。

7 調査の概要および結果

調査は、工事予定地に幅1.5mのトレンチを31本設定し、バックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した（第12図）。

(1) 層序

調査地の基本層序について、各地区ごとに記述する。

ア 自然堤防状の微高地であったと考えられる地点（14号トレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、25cm）第Ⅱ層 褐色土（水田造成土、35cm）、第Ⅲ層 灰褐色・褐色粘質土に褐色砂質土混じる（造成土、35cm）、第Ⅳ層 におい黄褐色粘質土に褐色砂質土混じる（河川堆積土、45cm以上）である。

イ 旧河道であったと考えられる地点（6、11、15、21、22、26～28号トレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、15～25cm）、第Ⅱ層 褐色土・灰褐色土に赤褐色砂混じる（水田造成土、10～50cm）、第Ⅲ層 褐色砂φ1～3cmの小礫混じる（河川堆積土、55cm以上）である。

ウ 湿地であったと考えられる地点（1、2、4、5、12、13、16、18～20、30、31号トレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土・褐色土（表土・耕作土、10～35cm）、第Ⅱ層 褐色土・灰褐色土（水田造成土、10～55cm）、第Ⅲ層 青灰色粘土・灰褐色粘土に植物遺体混じる（堆積土、20～40cm）、第Ⅳ層 黒褐色土に植物遺体多量に混じる（スクモ層、30～80cm以上）、第Ⅴ層 青灰色粘土・褐灰色粘土に礫混じる（堆積土、20cm以上）である。

エ 氾濫原であったと考えられる地点（上記以外のトレンチ）

第Ⅰ層 暗褐色土（表土・耕作土、20cm）、第Ⅱ層 灰褐色粘質土に赤褐色土混じる（水田造成土、15～40cm）、第Ⅲ層 青灰色・褐色粘質土に同色砂質土混じる（堆積土、15～54cm）、第Ⅳ層 灰褐色・青灰色粘質土に青灰色・におい赤色砂混じる（堆積土、25cm以上）である。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構の検出および遺物の出土はなかった。

(3) 所見

調査の結果、土層の堆積状況から、旧地形は旧岩見川およびその支流が形成した自然堤防および氾濫原、旧河道であった地点と、湿地であった地点があると考えられる。

以上のことから、事業予定地では遺跡が確認されず、事業実施については差し支えないと判断した。

(調査担当：佐藤)



2号トレンチ土層堆積状況（西→）



7号トレンチ土層堆積状況（北→）



14号トレンチ土層堆積状況（東→）



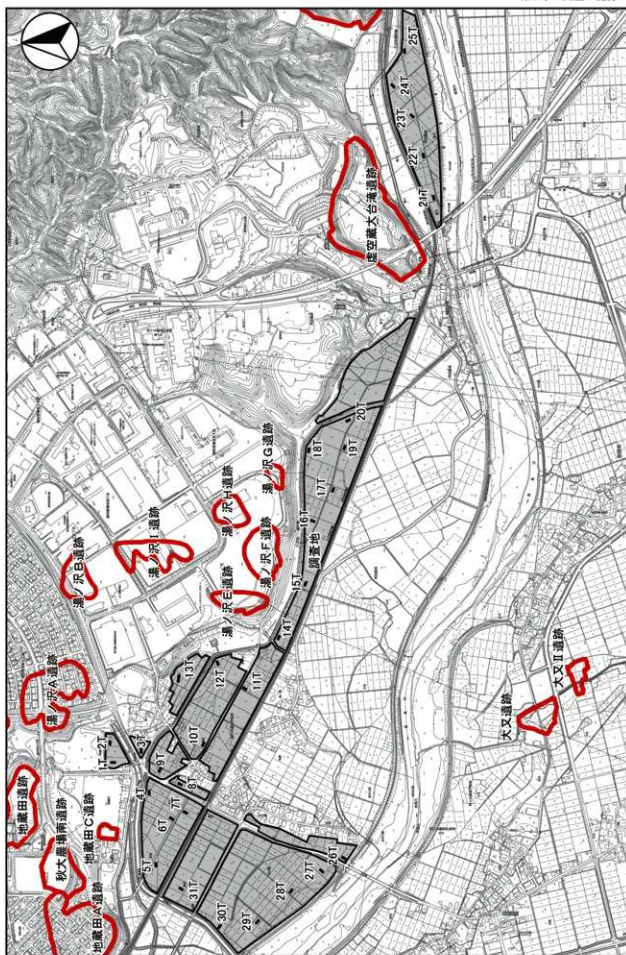
21号トレンチ土層堆積状況（東→）



25号トレンチ土層堆積状況（西→）



28号トレンチ土層堆積状況（南東→）



第12図 四ツ小屋南地区農地集積加速化基盤整備事業予定地調査位置図 (S=1/12,000)

10 久保田城跡(千秋公園整備事業さくら景観整備工事予定地)

- 1 調査地 秋田市千秋公園地内
- 2 調査期日 令和6年12月19日
- 3 調査面積 8.5㎡(調査対象面積 約157㎡)
- 4 起因事業 千秋公園整備事業さくら景観整備工事
- 5 調査に至る経緯

秋田市(公園課)は、秋田市千秋公園地内にさくら景観整備工事を予定していることから、令和6年12月10日付けで秋田市文化振興課に埋蔵文化財事前調査の依頼があった。これを受けて、秋田市教育委員会は分布調査による現況確認と範囲確認調査を実施した。

6 立地と現況

調査地は秋田市街地の中央部、旭川左岸の独立した千秋公園台地に立地する近世城郭である久保田城跡に位置する。久保田城跡は秋田藩主佐竹氏の居城であり、明治29～30年(1896～1897)に、長岡安平により近代公園として整備された。

調査を実施した地点は久保田城本丸にあたり、掘削地点付近には寛永10年(1633)、安永7年(1778)、明治13年(1880)に火災で焼失したとされる本丸御殿や、西曲輪の兵具庫へ向かう埋門が所在していたと考えられる。

7 調査の概要および結果

調査は、事業予定地に幅1mのトレンチを設定し、一部深掘りをしながらバックホーによって試掘し、遺構・遺物の有無を確認した(第13・14図)。

(1) 層序

調査地の基本層序について、各地区ごとに記述する。

ア 埋門付近(1号トレンチ)

第Ⅰ層 暗褐色土(表土、20cm)、第Ⅱ-Ⅰ層 褐色土・褐灰色土に礫混じる、水道管検出(造成土、100cm)、第Ⅱ-Ⅱ層 黒褐色土に礫多量に混じる(造成土、60cm)、第Ⅲ-Ⅰ層 褐灰色砂質土に炭化物混じる(造成土、40cm)、第Ⅲ-Ⅱ層 黄褐色砂質土(造成土、60cm)、第Ⅲ-Ⅲ層 にぶい黄褐色砂(造成土、40cm)、第Ⅳ層 礫が混じる黄褐色粘土(近世整地層、10cm以上)である。

イ 本丸御殿付近(2号トレンチ)

第Ⅰ層 暗褐色土(表土、10cm)、第Ⅱ層 褐色土に炭化物混じる(造成土、20cm)、第Ⅲ層 褐色土に黄褐色粘土ブロック混じる(15cm以上、近世整地層)である。

(2) 検出遺構と出土遺物

遺構は検出されなかった。出土遺物は、造成土から、土器(灯火具、近世)、瓦(棧瓦、鬘斗瓦、面斗瓦、近世)が出土している。

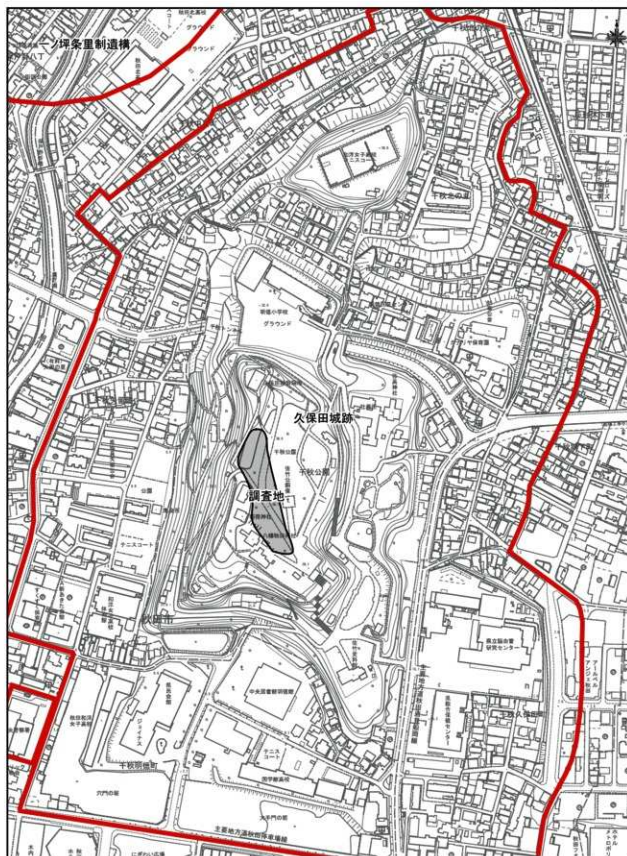
(3) 所見

調査の結果、埋門近辺の斜面部においては、水道管の布設や公園造成によって大規模な擾乱をうけており、近世の遺構面は失われていることを確認した。本丸御殿南部については遺構は確認されなかったが整地層は遺存していると考えられる。

以上のことから、事業実施にあたっては、埋門近辺斜面部においては差し支えないと判断した。本

丸御殿南部においては、従来とおり盛土を行い、遺構面を保護する必要がある。

(調査担当：佐藤・進藤)



第13図 久保田城跡(千秋公園整備事業さくら景観整備工事予定地)調査位置図 (S=1/5,000)



第14図 トレンチ位置図 (S=1/1,000)



1号トレンチ平面 (南東→)



1号トレンチ断面 (南→)



2号トレンチ平面 (南西→)



出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	れい わ れん ど あき た し い せき がく にん けい ぎょう ことし
書 名	令和6年度 秋田市遺跡確認調査報告書
副 書 名	
巻 次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編 著 者 名	佐藤桃子・進藤靖
編 集 機 関	秋田市教育委員会（秋田市観光文化スポーツ部文化振興課）
所 在 地	〒010-8560 秋田県秋田市山王一丁目1番1号 TEL 018-888-5607 FAX 018-888-5608
発行年月日	2025年3月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コ ー ド		北 緯	東 経	調査期間	調査面積 (㎡)	調 査 原 因
		市町村	遺跡番号					
たきわのぼくしん い せき 湯沢台牧場遺跡	たきわあざ せき 添川字湯沢	05201	244	39度 46分 0秒	140度 9分 16秒	20240502	50.4	太陽光発電事業
うしろ じょう い せき 後 城 遺 跡	てらうちいんじょう 寺内後城	05201	185	39度 44分 32秒	140度 4分 19秒	20240902	44.4	集合住宅新築工事
開 発 予 定 地	かべとろろ 河辺戸島	05201		39度 38分 26秒	140度 12分 0秒	20241029 ～ 20241101	297.3	農地集積加速化 基盤整備事業
あき た じょう あき 秋 田 城 跡	てらうちいんじょう 寺内見城	05201	186	39度 44分 13秒	140度 5分 9秒	20241105	8	斜面復旧工事
開 発 予 定 地	せうあまてう 雄和左手子	05201		39度 32分 48秒	140度 13分 36秒	20241112 ～ 20241114	225.6	農地中間管理機 構関連は場整備 事業
はな こしり い せき 鼻コシリ遺跡	かみしんじょう 上新城	05201	135	39度 46分 58秒	140度 6分 33秒	20241119 ～ 20241122	258.3	農地中間管理機 構関連は場整備 事業
こひら あき た い せき 五百刈沢遺跡			136	39度 46分 57秒	140度 6分 41秒			
開 発 予 定 地	に い だ 仁井田	05201		39度 41分 4秒	140度 8分 44秒	20241120 ～ 20241122	236.3	農地中間管理機 構関連は場整備 事業
開 発 予 定 地	に い だ 仁井田	05201		39度 41分 6秒	140度 8分 21秒	20241125 ～ 20241128	281.1	農地中間管理機 構関連は場整備 事業
開 発 予 定 地	きつ こと 四ツ小屋	05201		39度 39分 8秒	140度 9分 42秒	20241125 ～ 20241129	301.2	農地集積加速化 基盤整備事業
くぼ た じょう あき 久 保 田 城 跡	ちゅうきんこう 千秋公園	05201	217	39度 43分 20秒	140度 7分 25秒	20241219	8.5	千秋公園整備事 業

所収遺跡名	種別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項
秋 田 城 跡	城郭官衙	奈良・平安・中世		須恵器	古代の遺物を確認
久保田城跡	城郭	近世		灯火具・瓦	
要 約	上記の所収遺跡はこれまで発見されている遺跡である。				

令和6年度

秋田市遺跡確認調査報告書

印刷・発行	令和7年3月24日
発 行	秋田市教育委員会
編 集	秋田市観光文化スポーツ部文化振興課 〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 TEL 018-888-5607 FAX 018-888-5608
印 刷	秋田中央印刷株式会社
